

8 消 防 費

61,424,898 円

消 防 費

○ 消 防 費

61,424,898円

常備消防については、昭和44年4月1日に発足した福生地区消防組合に45,404,722円(負担率46.36%)を負担し、常備消防の強化につとめた。

非常備消防については、消防施設事業及び消防施設の維持管理の向上につとめるとともに、消防法に基づく水利標識等を設置するとともに、消防施設の拡充につとめた。

1. 常 備 消 防

(1) 消防組合の現況

福生町消防本部(昭和43年7月1日設立)は、職員10名をもって、火災予防行政を実施しながら、消防署設立の準備を進めていたが、昭和44年3月15日、羽村町、瑞穂町を組織町とする福生地区消防組合が設立され、昭和44年4月1日をもって組合消防本部を発足、職員20名、消防自動車1台をもって、消防行政並びに消防活動を実施した。

さらに、12月5日、水そうポンプ自動車1台を購入し、職員並びに機動力の増加をはかった。

翌45年2月10日、生命保険協会寄贈のB級救急自動車をA級救急自動車に改造配置となり、救急業務を開始すると同時に、福生地区消防署を開署し、職員36名、消防車2台、救急車1台、指揮車1台、無線基地局1、移動局3、携帯局4をもって消防活動を実施した。

さらに、昭和46年3月12日、標準型消防ポンプ自動車、3月20日に査察広報車を購入するとともに、かねてより懸案であった庁舎を、福生市大字福生1072番地に新築、敷地面積1725.73m²、建築面積338.75m²、鉄筋コンクリート2階建一部望桜7階建、延面積688.34m²が昭和46年4月7日完成し、職員58名、消防車4台、救急車1台、査察広報車1台、指揮車1台をもって、消防行政並びに消防活動を実施している。

2. 非 常 備 消 防

(1) 年令別消防団員数

(45.4.1)

団員数	18 ～20	21 ～25	26 ～30	31 ～35	36 ～40	41 ～45	46才 以 上	平均年令
211人	人	57人	80人	51人	20人	3人	人	28.8才

(2) 消防団水火災出動状況

水火災発生件数	出動件数	延出動団員数	1件平均出動団員数	団員1人平均出動回数
49件	51件	2,654人	52人	13回

(他市町応援出動を含む。)

(3) 団員損害補償

被補償者数	療養補償	休業補償	補償額合計
4人	14,755円	42,102円	56,857円

(4) 消防施設の整備

ア 防火水そう

防火水そう新設場所

設置場所	規格	所属分団
福生市大字熊川 623番地	40m ² 級有蓋 空地用	第2分団
福生市大字熊川1,315番地	40m ² 級有蓋 道路用	第2分団
福生市大字福生1,072番地	40m ² 級有蓋 空地用	第4分団

イ 水利標示板

水利標示板30枚を購入し、新たに設置するとともに不明確になった水利標示板と交換した。

消火栓		防火貯水槽		その他	
150mm以下	150mm以上	20m ² 未満	20m ² ～40m ² 未満	40m ² 以上	ブール
215	68	62	8	49	11

ウ ホース

ホースの配置

区分	第1分団	第2分団	第3分団	第4分団	第5分団	計
数量(本)	58	56	51	51	53	269

本年度、50本のホースを購入し、各分団へ各10本配付した。

エ 詰 所

分団名	所在地	構造	面積 (m ²)	団員数	消防自動車
第1分団	福生市大字熊川198番地	木造モルタル平屋	34216	40名	1台
第2分団	福生市大字熊川607番地	木造モルタル2階建	(延) 66248	40名	1台
第3分団	福生市志茂 232番地	木造2階建	(延) 59502	40名	1台
第4分団	福生市大字福生1106番地	木造モルタル2階建	(延) 6707	40名	1台
第5分団	福生市大字福生626番地	木造平屋	2975	40名	1台

オ 消火栓設置場所

設置場所	種類
都市計画街路 2.2.1号線	地下式 単口 3基
	" 双口 2基
市道加美平2号線	" " 1基
" 553号線	" 単口 1基
" 165号線	" 双口 1基
奥多摩街道立川青梅線29号線	" " 1基
計	9ヶ所

(5) その他渉外関係

名称	会議数
三多摩消防団連絡協議会	1
西多摩郡消防団連絡協議会	7

相互応援の協定締結状況

協定市町名	協定範囲区分	締結の形成	協定の目的
立川市 昭島市 羽村町 瑞穂町 秋多町	相互の応援	口頭	火災 風水害
米空軍横田基地	米軍横田基地との 相互応援協定	文書	火災
東京都 (東京消防庁)	東京都(東京消防庁) との相互応援協定	"	火災 集団災害等

昭和45年度救急車の事故別出動状況

(4 5.4.1～4 6.3.31)

事故 種別 月別	火 災	風 水 害	水 難	交 通	労 災	運 動 競 技	一 般 負 傷	犯 罪	自 損	急 病	そ の 他	計
4	2			20			4		2	20	2	50
5	1			13			2	1	1	18		36
6				17			8	2	2	21		50
7	1			20			8		2	14	2	47
8				17	1		5	2	1	22		48
9	2			22	1		5	2	2	14	2	50
10	1			15	1		4	1	2	19		43
11	1			21			5	3	2	20	2	54
12	3			17	2		6	1	1	25		55
1	3			12	3		2	4	1	16		41
2	2			9	1		7	2		22	2	45
3	1			18			7	1		22	2	51
計	17			201	9		63	19	16	233	12	570

昭和45年度月別火災発生件数

(45.4.1～46.3.1)

区分 月別	建物				車 両	そ の 他	計	焼損面積 (m ²)	損害額 (千円)
	全 焼	半 焼	部分 焼	ぼ や					
4	1			2		1	4	35	2,045
5				2	1		3		376
6									
7				1	1		2		155
8				1		2	3		5
9	1			1		1	3	74	2,955
10				1			1		150
11	1			1			2	56	1,511
12	1			3	1	3	8	53	3,001
1		1		3	1	3	8	94	9,117
2	1			3		2	6	34	1,703
3				3		6	9		95
計	5	1	0	21	4	18	49	346	21,113

原因別火災発生件数

(45.4.1～46.3.1)

原因	石油ストーブ コンロ	マッチ	タバコ	風呂釜	ガスコンロ	スイッチ 火花	エンジン 加熱
件数	10	6	6	5	2	2	2

不明	その他	計
1	11	45